

令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：多文化ソーシャルワークの視点から
異文化「終活」を考えるセミナー（その2）
2. 事業種別：共催
3. 申請者：山本 理絵（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
4. 共 催：愛知県立大学生涯発達研究所、あいち多文化ソーシャルワーカーの会、
愛知県立大学地域連携センター、多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)、
外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト
5. 開催日時：令和3年8月28日（土） 13：30～16：30
6. 会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 登壇者：ネストール・プノ氏（フィリピン出身者）
原田美河氏（ベトナム出身者）
金順愛氏（在日コリアン）
シバラムカドカ氏（ネパール出身者）
8. 参加者数：109名（一般・学生）

【概要】

王榮氏の趣旨説明の後、各国の出身者から「終活」事情～葬儀の伝統的儀式とその変化、宗教・民族、都市と農村、地域による葬儀の形態、考えや文化・死生観の違い、貧富の格差による差異、日本で亡くなった場合の困難、老後をどこで過ごしたいか等について報告があった。

その後の討論では、高齢者が母語でしか話せず家庭内でコミュニケーションがうまくできなくなった時のことや、自国の文化・葬儀方法で行いたい場合の問題点などが話し合われた。価値観の多様化の尊重・受容や死生観を話し合える環境づくりの重要性なども課題として出された。

【チラシ】

愛知県立大学地域連携センター公開講座
2023年開催
10月20日

多文化ソーシャルワークの視点から
異文化「終活」を考えるセミナー（その2）

「終活」は、人生の最後をどう過ごすか、というテーマです。国や文化によって、死生観や葬儀の考え方が異なります。このセミナーでは、各国の出身者から、それぞれの文化や宗教に基づいた「終活」の考えや、日本で暮らす外国人の高齢者が直面する課題について話し合います。

日 時：2023年8月28日（土）
13:30～16:30
（Zoomでのオンラインミーティング）
定 員：100名（先着順）

1 セミナーの趣旨説明
多文化ソーシャルワークの視点から「終活」を考える

2 各国出身者の形の報告
日本の報告：王榮氏（在日コリアン）
フィリピンの報告：ネストール・プノ氏（フィリピン出身者）
ベトナムの報告：原田美河氏（ベトナム出身者）
ネパールの報告：シバラムカドカ氏（ネパール出身者）

3 質疑応答

※ 詳細は、愛知県立大学地域連携センターのホームページをご覧ください。

お問い合わせ先：愛知県立大学地域連携センター
〒466-8601 愛知県立大学 豊田キャンパス 地域連携センター 10号館 101号室
TEL: 052-833-2111 (内線2111) FAX: 052-833-2112
E-MAIL: chikiryoku@u-aic.ac.jp <http://www.u-aic.ac.jp/chikiryoku>

主催：愛知県立大学地域連携センター
共催：愛知県立大学地域連携センター、あいち多文化ソーシャルワーカーの会、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)

【講座の様子】

